

北大生が企画開発したデスモスチルス USB を博物館で販売

【概要】

北海道大学総合博物館ミュージアムショップで、本学の学生が企画開発した新たなオリジナルグッズの販売を開始しました。同館が展示している古生物の骨格標本をモチーフにした「デスモスチルス USB」です。学生教育の一環として取り組んだ成果でもあります。学生の発想から生まれたミュージアムグッズをぜひショップでご覧ください。

【内容】

北海道大学大学院の授業「博物館コミュニケーション特論 ミュージアムグッズの開発と評価」(担当：総合博物館・湯浅万紀子教授)の受講生4名が、北海道大学総合博物館オリジナルのグッズを開発しました。



上段 デスモスチルス USB (4GB, 特典データ内蔵, 税込 1,500 円), 担当した大学院生

下段 内蔵されている特典データ 専門家による解説動画, 解説テキストと写真

大学院の授業において、マーケティング調査をもとに検討を重ね、総合博物館に展示されているデスマスチルスモチーフにした USB を開発しました。デスマスチルスとその研究に関心を深めていただきたい、そして日常で使用できる博物館のオリジナルグッズを開発したいとの学生の思いから、実現しました。

USB の木目の筐体^{きょうたい}にはデスマスチルスがデザインされています。また、本体には数々の特典データが内蔵されています。本学の卒業生で大阪市立自然史博物館の学芸員であり、沼田町化石館と総合博物館の研究員を務める田中嘉寛さんが展示室でデスマスチルスについて解説する動画、デスマスチルスの発掘から調査・研究そして展示に関する解説テキストや写真、デスマスチルスの壁紙です。デザインと解説の監修は田中さん、映像制作は本学高等教育推進機構の藤田良治准教授が担当し、動画には田中さんとともに学生が出演しています。ぜひミュージアムショップ（総合博物館1階）と本学正門左手のインフォメーションセンター「エルムの森」ショップでお手にとってご覧ください。

グッズ開発の経緯を伝える授業の様子は、総合博物館のウェブサイトで紹介しています。

<https://www.museum.hokudai.ac.jp/education/museummeister/cat/lesson/communication3/>

販売場所：北海道大学総合博物館1階 ミュージアムショップ
札幌市北区北10条西8丁目（JR札幌駅北口より徒歩15分）

北海道大学インフォメーションセンター「エルムの森」ショップ
札幌市北区北8条西5丁目（JR札幌駅北口より徒歩7分）

開館期間：10:00 - 17:00
10:00 - 21:00（6月～10月の金曜日のみ）

休館日：毎週月曜日、12月28日～1月4日
（月曜日が祝日の場合はその翌日が休館。他、大学行事などで臨時開館・休館あり）

入館料：無料

お問い合わせ先

北海道大学総合博物館（理学・生命科学事務部事務課 博物館担当）

T E L 011-706-2658 F A X 011-706-4029

メール museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp

U R L <https://www.museum.hokudai.ac.jp/>

配信元

北海道大学総務企画部広報課（〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール kouhou@jimu.hokudai.ac.jp